

家庭から出る「びん」と「資源ごみ」について考えてみましょう

私たちの町の「びん」と「資源ごみ」の現状

美郷町のごみの収集は、平成14年から新たな処理施設が稼動したことにもない、それまでの焼却主体の処理収集から、効率的な資源の回収を目指して「びん」「缶」「ペットボトル」「古紙類」を加えた7分類による収集を行い、リサイクル資源化に努めています。

しかし、分別化が進んでいる一方で「ごみ」の量は年々増加しているのが現状です。このような増加傾向が続くと、ごみ処理以外への行政経費に大きく影響することが予想されます。

町民一人あたりのごみ年間排出量は322kgとなり、増加傾向となっています。これまで美郷町は常に秋田県平均399kg(公表された17年度実績)を大きく下回っていましたが、ここ数年徐々に平均値に近づいています。特に、家庭系ごみの増加は顕著で、秋田県平均266kgと同量程度となっています。

私たちが日常生活するうえで、「ごみ」は毎日必ず発生する生活廃棄物です。そして、その「ごみ」の焼却処理や最終処分場埋め立て処理には、莫大なエネルギーと多額の経費が使われています。今あらためて町の「ごみ問題」を一緒に考えてみましょう。

一人ひとりの工夫でびんの減量

「ごみの減量」と言うと、面倒とか難しいと思われるかもしれませんが、決してそうではありません。一人ひとりがごみの減量の意識を持つことにより、ちょっとした工夫で確実に減らすことができます。

誰もが無理をせず、継続的にできることを考えてみましょう。簡単にできる次のような取組みはいかがでしょうか。

個人でできる簡単な取組み

過剰包装を断って「マイバッグ」を利用しましょう

買い物をするときは、必要以上の包装や家で使うものへの包装を断りましょう。また、レジ袋はほとんどごみとして出されています。マイバッグを持参して、ごみとして出さないようにしましょう(1袋あたり5〜10gの減量ができます)。



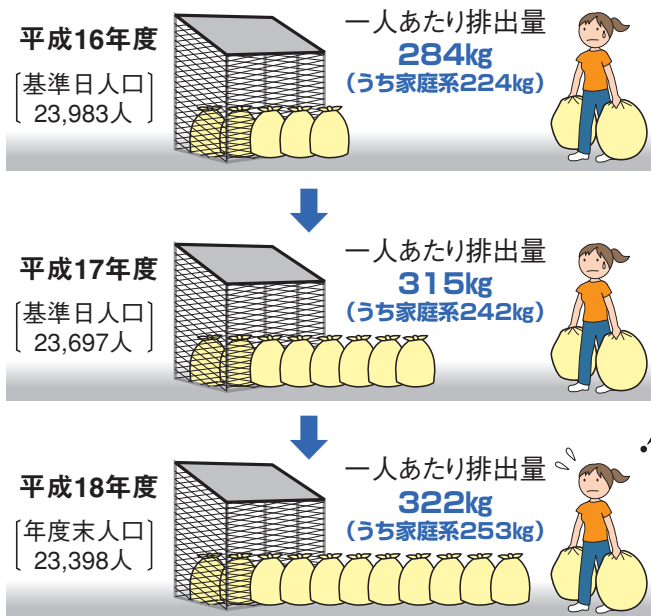
リターナブルびんの飲み物を利用しましょう

「リターナブルびん」とは、洗うことで何度でも再利用できるびんのことです。特に、ビールびんなどは20回以上再利用されています。購入する飲み物を缶類(ペットボトル、紙容器を含む)からびん類に変えるだけで「ごみ」にはなりません(1缶あたり20gの減量ができます)。

ごみの量の年度別実績

(単位：トン)

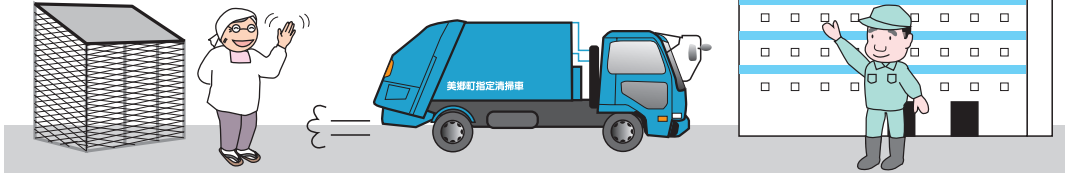
区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
もやせるごみ	5,668	6,212	6,199	
もやせないごみ	499	494	441	
資源ごみ	びん・缶	271	323	261
	ペットボトル	24	36	35
	古紙類	205	234	396
粗大ごみ	161	161	221	
総量 (前年度比)	6,828	7,460 (+9.3%)	7,553 (+1.2%)	



平成19年度の美郷町のごみ処理に要する予算額 総額 3億2,073万4千円

ごみ収集処理事業費 3億1,729万7千円

(ごみ収集運搬・処理施設負担金)



不法投棄対策事業費 130万8千円

(監視人・処理手数料)



山や川にゴミを捨てる
と犯罪になるんだよ。

ごみ減量リサイクル対策事業費 212万9千円

(生ごみ処理機補助・リサイクル協力交付金・廃棄物減量推進員)



ごみがたくさん出ると、
それだけ処理にお金がかかるんだね。

町民1人あたり年間13,600円が
(標準的な4人家族では54,400円)
ごみを処理するために使われています。

※平成19年度当初予算による

ごみを適切に処理するためには経費がかかります

美郷町の「ごみ処理経費」は、平成19年度当初予算で総額3億2千万円を計上しています。町民一人あたりでは、年間13,600円となり標準的な4人家族では年間54,400円にもなります。

豊かな社会を支えてきた大量生産、大量消費、大量廃棄の社会システムやライフスタイルを見直し、限りある資源を循環型に転換するとともに、行政経費の削減施策を講じなければなりません。

なお、リターナブルびんは小売店に戻してください。

生ごみの処理

生ごみは水分を多く含むため重量があり、また腐敗して悪臭を発する特徴があります。その水分量は70〜80%と言われています。ごみ袋に入れる前に十分に水切りをしましょう。たったこれだけで、大幅な減量となります。



生ごみの堆肥化

ご家庭でも、生ごみ処理機などを利用して、堆肥化することができます。堆肥として使用できると大きな減量となります。町ではその補助として、生ごみ処理機助成金制度(購入金額の2分の1・上限額5万円)を設けていますので、ぜひご利用ください。



水切りのコツ

三角コーナーなどで一定時間放置するだけで、かなりの水切りができます。できれば水切りネットを使い、最後にひと絞りしてください。

わたしたちにも
できる、ごみを減らす
工夫をしたいね。

問い合わせ 役場(千畑庁舎)住民生活課
環境安全班 ☎0187(84)4903